かがやき

真備東中学校

校訓 自学　自立　　校長室だより

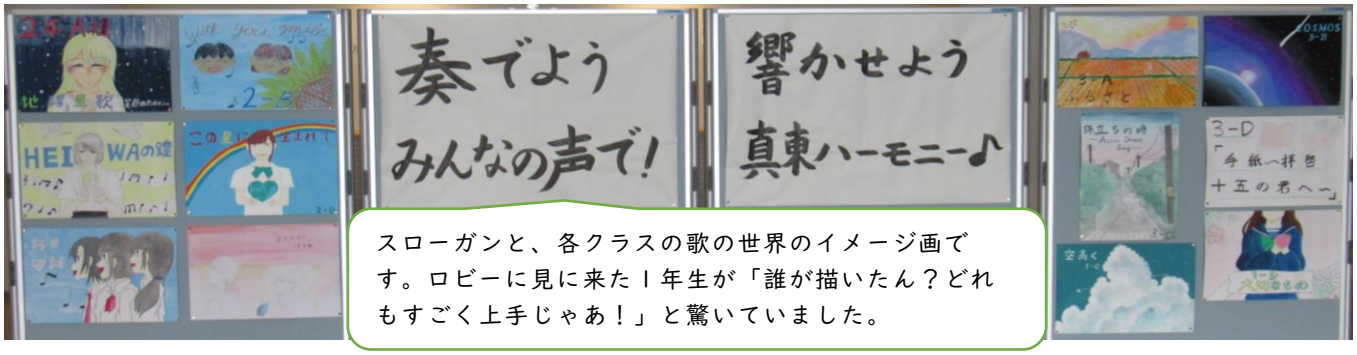
第１６号　Ｒ４．９．２８

9/16　合唱コンクール開催！

新型コロナウイルスが感染拡大するようになって３年。やっと合唱コンクールを開催することができました。しかも、保護者の皆様にご参観いただけること、マービーふれあいセンターという、地元の素晴らしい施設を使用できるということで、大変嬉しくまたありがたく思いました。

感染症対策を講じながらの練習は、さぞかし大変だったことと思います。しかし、日に日に歌声が大きくなり美しくなっていくのを聞くにつけ、本番が楽しみで仕方ありませんでした。当日も、指揮者と伴奏者と歌い手の心を合わせた一生懸命な歌声がホールに響き渡って、どのクラスの合唱も聴き応え十分でした。とりわけ３年生の学年合唱「YELL」は、圧巻でした。音楽科の先生も「聞いていて涙が流れた。」というくらい素晴らしい歌声でした。

『奏でよう、みんなの声で！響かせよう、真東ハーモニー♪』のスローガンの下、生徒たちは合唱を楽しみ、仲間との絆を深めるとともに、心に残る思い出をまた一つ作ることができたのではないかと思います。司会や挨拶、学級紹介等の役割を担った生徒たちも、みな大変立派な態度でした。



スローガンと、各クラスの歌の世界のイメージ画です。ロビーに見に来た１年生が「誰が描いたん？どれもすごく上手じゃあ！」と驚いていました。

《各学年の優勝クラス》

１年　　Ｄ組

２年　　Ａ組

３年　　Ｄ組

《ベストコンダクター賞》

１年

２年

３年

《ベストピアニスト賞》

１年

２年

３年

《生徒感想》

○２年生や３年生はサビのところで、みんなが揺れながら歌っていたのが印象的だった。どのクラスからも、そのクラスだけのハーモニーが伝わってきた。
○合唱コンクールを通して、一人一人が力を発揮する大切さが分かって、クラスがまとまってきた気がした。それぞれのクラスの歌声の良いところが分かった。（ＩＡ）

○特によかったのは３年生です。３年生の歌声がすごくてびっくりしました。さすが３年生だなと思いました。
○今日はお客さんがきてくれてよかったです。新型コロナでいろいろな授業や大きな声でしゃべるのがだめといわれるなか、お客さんがきてくれてうれしかったです。（ＩＢ）

○先生に教えてもらったことや注意して歌うところを意識して今まで練習した。自分の出せる精いっぱいの声を出した。
○３年生全体で歌うのが、とても力強くすごく感動した。一人一人のしんけんさやいっしょうけんめいさがとても伝わってきて、とても良かった。
○一人一人ががんばるだけでなく、クラスのまとまりを学ぶことができた。また、精いっぱいやることの楽しさを実感できた。（ＩＣ）

○他のクラスは、ソプラノの声が印象に残りました。ハモルときに優しい声で言葉一つ一つていねいに歌っていて、とても感動しました。私もあのような歌声で歌えることができたら良かったと思いました。
○私は、もともと自分から声を出すのが苦手で、声を出すのはひかえていたけど、みんなの声が大きくなっていくのに焦って自分も声を出さないとと思い、自分から声を出すようにがんばりました。こんなに声が出たことが本当にうれしかったです。（ＩＤ）

○クラスのみんなで約３週間毎日練習し、教え合ったりしたことで、さらにみんなと距離がちぢまって一つになれた気がする。練習しているところを見ていると、これからどんなことがあっても２年Ａ組ならみんなでのりこえることができそうだと思った。自分自身も合唱コンクールとみんなのおかげで成長することができた。（２Ａ）

○声の強弱がはっきりした歌声で歌えた。
○待機場所ではすごく緊張したけど、歌うとなると自信が湧いてきて、緊張がほぐれたので良かった。
○１年間、歌を歌っていないから、歌っていたころに戻れるかなと思っていたけど、皆が声を出して歌ってくれたから、自分も歌うことの楽しさを発見できたし、チームワークも高まったのではと思いました。（２Ｂ）

○クラス全体で協力して、一つのことに挑戦して、団結力が生まれたと思いました。
○他の人と協力してなしとげる事の楽しさなどを感じることができました。
○練習したことが本番でできてよかった。クラス全体で協力したから絆が深まった。来年の合唱コンクールまでに、もっと成長できるようにしたいと思った。（２Ｃ）

○Ｄ組みんな頑張っていたけど、特にパートリーダーが私たちの中心となって頑張ってくれていました。
○最初は合唱コンクールいやだなと思っていたけど、思っていたよりも数十倍も楽しかった。合唱コンクールを通して、自分自身は人前で歌うことは楽しいことと感じ、嫌だった歌の楽しさを知った。クラスとしては今日歌った「この星に生まれて」はハーモニーが重要だったので、より絆が深まったと思う。（２Ｄ）

○多くのクラスが誰か一人に頼らず「みんなの声」で歌えていたのはすごくよかった。やはり恥ずかしいと思うことはあるけど、やる時はやる、これが大切だと学んだ。
○とにかく「失敗したらどうしよう」と怖がらず、とにかくやるということを少しだができるようになった。前より、男女関係なく相談したり何かをなしとげることができた。（３Ａ）

○みんなでゆれながら歌えていたのがよかった。
○女子と男子の追いかけるハモリの部分がとてもきれいに歌えているクラスがたくさんあった。
○最初で最後の合唱コンクールですることはすべてはじめてだし、修学旅行のあとからの練習だったので他の学年より少し大変だったけど、みんなで協力しあっていいものが完成できた。それぞれがしっかりと声を出して歌えていてよかった。（３Ｂ）

○どのクラスもクラス全員の声とピアノの音と指揮者が一体化していてとてもきれいでした。女子の高くてきれいな声を男子の力強い低音で支えている感じがとてもきれいで感動しました。
○毎日のようにクラスのみんなで声をそろえて歌ったりできたので、少しかもしれないけど、心が一つになった気がしました。学年の歌でもみんなの思いをのせて歌えて、歌うことってとても楽しいなと感じました。（３Ｃ）

○全員の声で真東ハーモニーを奏でることができ、仲間との一体感を感じられて感動した。この一体感を生かし、これからの生活や体育会でも協力を大切にしながら過ごしていきたい。
○３年生みんなで YELL を歌って、真東ハーモニーができたと思います。久しぶりに一つのことに全力になれて、クラスの「きずな」が深まって楽しかったです。（３Ｄ）